NPO法人 ハッピー 広報誌

2020年12月発行 No. 16



本部 〒890-0032 鹿児島市西陵 1 丁目 8 - 7 TEL 099-282-7408 FAX099-296-1733 (事務局 TEL 099-283-6120)







2020年度 ハッピーアルバム









秋と言えば食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋と、楽しみがいっぱいな季節 です、普段ならば。しかし今年は残念ながら、どの秋が楽しめるでしょうか?

こんな時でも各事業所の毎日は綴られます。そのひとコマ(取り組み)がこのハッピー通信に満載で す。外出活動や季節の行事等の開催が思うようにはいきませんが、各事業所らしさを大事に今できる ことを考えて、取り組んでいます。リニューアルしたホームページも併せてご覧いただき、こんな時 だからこそほっこりしていただけたら嬉しいです。

収まりかけたかに見えた新型コロナの感染も再び拡大し、当法人内の事業所でも、感染防止策に必

死です。ニュースでも「コロナ慣れ」という言葉が多く聞かれます。利用児や 利用者の方々、その家族の皆様、職員全員の継続した努力、ご協力のおかげ で、各事業所が大きなトラブルもなく開所できておりますことに感謝致します。 これからも、関係する皆さんの健康を第一に、法人として感染防止に取り組ん でまいりたいと思います。 NPO法人ハッピー事務局 有村 正恵



児童発達支援事業所

子育てサポートどんぐり

FAX:099-296-1733

鹿児島市西陵 1 丁目 8-7 TEL: 099-282-7408



〈私の実践日誌から〉 "公園あそび" ~ 9月 10日(木) ~

「今回の台風は、大きいよ」と言われた、台風 10 号も過ぎ去りホッと一安心。!(^^)! しかし、その後の天気も、なかなかパッとせず。今日は本当に雨降らないかな?というような曇り空が続いていますね。この日も、天気予報では雨だったのですが、どうにか降らずにもちそうだったので、久々に近くの公園へ。



公園に着くと、子ども達はそれぞれ、ブランコ、滑り台、鉄棒とみんな思い思いに遊具で遊びました。中には、

長~い蔓を見つけて、大人と一緒に♪きしゃ きしゃ ぽっぽ ぽっぽ♪ と歌いながら汽車ごっこを楽しむ子達もいましたよ。そんな中、草む らに何やら動くもの発見!!バッタです倒

"なになに??!と不思議そうに集まる子ども達。手を広げてバッタが出てくると、欲しいと手を伸ばす子もいれば、慌てて逃げる子も。それから、バッタ探しも始まり、あっという間に時間は過ぎ、

最後は、スポーツ DAY に向けて、みんなでかけっこの練習もしてたっぷり体を動かしました。

どんぐりに帰り着く頃には、みんな汗びっしょり。そこで、用意し

ていたタライや小プールで水あそび。水の心地よさを感じながら、さっぱりした子ども達の顔。子どもも大人も、まだまだ、これが欠かせません。(^^)

これからも、体を動かすと"楽しいね""心地よいね"を一緒に感じられるように活動をしていきたと思います









【どんぐり施設長より】~子どもたちの興味・関心を拡げるために♪ 宮島 修一

今年の夏、秋は大きな台風もやってきてどんぐりは休園をした日もありました。幸い特に大きな被害はなくすぐに開所することができました。停電や断水があったところもあったとお聞きしました。大変だったと思いますが、台風が過ぎ去ったあと、元気そうに登園してくる子ども達の顔をみてホッとしたところです。

7,8月は毎日のようにどんぐりプールで遊びましたが、9、10月は運動遊びを楽しむ予定です。10月にはどんぐりスポーツDAYもあります。「楽しく身体を動かしてほしい」「身体を動かす心地よさを感じて欲しい」そんなねらいのもと遊びを展開していきます。4、5歳児には友達と同じ目的を持って力を合わせる、そんな姿も望んでいます。同じように2、3歳児にも、とはなりません。年長さんのように友達と力を合わせて頑張れ!

と望むのは少しハードルが高い願いになります。させれば出来るかもしれませんが、それは行為をしているだけであり友達に意識が向けられているのかなと少し疑問に思います。

2、3歳児は「僕って、私ってすごいでしょ!」と認めて欲しい時期です。けれどまだまだ自分一人で上手く出来ない時期でもあります。でも手伝ってもらうのを拒否する姿があります。それは「一人でできるもん」そんな思いがあるからでしょう。大人が望むように出来ていなくても、決して出来てないと否定的な事は言わず「ここまで頑張れたね」「ここは上手にできたね」など段階的にでもいいので褒めてほしいなと思います。「僕って、私ってすごいでしょ」そんな思いを重ねていき、大人にいっぱい褒められていくことが、自己肯定感を高め興味関心が拡がり、他者へと意識が向くことに繋がっていきます。

この時期から大きな集団で、同じように動きなさい、友達と遊びなさい、それが出来なければ叱られる、否定的なことを言われることを繰り返すと、他者は心地よいものではなくなります。自分自身で精いっぱいで、友達へと意識を強める余裕はなくなるのではと考えます。友達と遊んで欲しい願いはあって当たり前です。でもすぐ

友達と遊べるようになるのではなく、段階を踏んで初めてそうなるのだという ことを知っていてほしなと思います。年中、年長になる頃までに、その子個人 を認めてくれる環境を保障して、そして大人との関係を深め、友達へとつなげ ていくことをどんぐりでは大事にしていきます。文責: 宮島



トークルーム

どんぐりスタッフより 児童指導員:奥田 雄朗

4月から子育てサポートどんぐりのスタッフとなりました。

奥田 雄朗(おくだ ゆうろう)とです。子どもたちには「ゆーろーさん」と呼んでもらっています。

私には小学2年生と年中の男の子がいます。 児童発達支援は初心者ですが、 自宅の子育てでの経験と、 先輩スタ

ッフのみなさんにいろいろと教えてもらいながら、毎回新鮮な気持ちで活動を体験させてもらっています。

勤めて半年、子どもたちにも受け入れられて当初より子どもたちのこと をわかって声かけや遊びが出来ているかなと思いますが、

もっともっと子どもたちが "楽しい♪" "心地よい" 実践が展開できるよう に笑顔とていねいさを忘れずに頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



どんぐり保護者より

秋は行事が多く、頑張った子どもたちは自信もついて、一回り大きくなったように感じます。9月に、年長の お泊り会があり、その保護者が一堂に会す時間もありました。そこには臨床心理士の先生も招かれ、就学に向け ての心構えや心配事へのアドバイスに加え、背中を押してくれるような、寄り添ってくれるような温かい言葉を、 先生や保護者の方からも頂き、心強い気持ちになりました。

子どもの繊細な問題を相談する相手を探すのはなかなか難しいことなので、このような貴重な場をつくって下さり、とてもありがたかったです。これからも親子ともども交流の場であり続けて頂けたら嬉しく思います。

放課後等ディサービス事業所 スクラム



鹿児島市西陵1丁目45-3 TEL:099-283-6130 FAX:099-296-1231

メールアト・レス: kaisagyousyo@po2.synapse.ne.jp

支援学級グループの実践から ~夏休みを通して、ちょっとだけ成長を感じる集団の雰囲気が・・・~

スクラムは夏らしい遊びを!というスタンスで楽しいがいっぱいの活動を行っていたのに今年は!前迫さんは「勉 強、ベンキョウという、怒るし、鬼だ!僕たちは遊びたい!勉強はお家でやるし、ブウブウ・・・。」それなのに「明 日もスクラムⅡに僕は来る?」「絶対スクラムⅡに来る」という。なんでスクラムⅠではなくⅡなのか、お家で留守番 (※スクラムⅡは支援級児童中心のグループ) するとか言わないのか。

小学生になると友だちと遊ぶことが一番の喜び!でも学校では上手に遊べない子どもたちも。大人に遊んでもらう のではなく、仲間を感じる場所、Iの仲間で楽しく遊びたいから!がその答えではないでしょうか。

しかし、「楽しく遊ぶ」はなかなか難しい。あそび方のレベルが学年によっても違う、自分が一番になって遊びを進 めないと気持ちが落ち込む、気の合う仲間以外を受け入れられない等の課題が見えてきたとともに、それぞれの子ど もの強み(得意なこと)が一日を通して生活する中で見えてきました。子どもたちは言葉で上手に表現することが苦手

> ですが、けんかをする中で互いを知り、理解しあおうというような雰囲気が芽生えてきたように 思います。私は見守っているだけです。時折ほんの少し手助けする程度です。しかし「なぜ そうするのかしないのか」、子どもの気もちと伝えようとする「言葉での受け止め方が子ども によってとても違う」ことが多くあり、共通理解に至らないことも度々。

この夏、「算数の学習を生活の中で」と買い物学習に取り組み200円を財布に入れてコン ビニやストアに出掛けました。始めはこれで大丈夫かな、足りるかなと不安そうな表情の子や何 でも欲しいものをかごに入れるダイナミックな子も。

そこで電卓を使いましょう!と電卓での計算を練習しながらお店に!しかし問題発生!!消費税!計算もこんがら がってしまいます。ちょっと足りなかったり、レジで商品を返したりなどの失敗を重ねたり・・。また、「水曜日の子 どもだけずるいよ!」となり、冬休みや春休みは水曜日だけではない曜日にもやってほしい!という声も。ここでも 自分だけではなく友だちへの思いやりを感じる言葉に「子どもっていいなぁ~」と感じ、引き続き取り組んでいきた いと思います。文責:前迫

【スクラム 施設長より】酒匂 康行

今年度も昨年度と同様に、運営及び実践面の目標を設定し職員一丸となり取り組んでいるところです。先日の理事 会にて、現時点での目標達成度の評価(中間評価)を報告いたしました。

運営目標で最も低評価だったのが、送迎車に関する項目でした。毎週水曜日の点検や整備・清掃を継続的に行い評価 は高いのですが、ブロック塀や縁石でボディに傷をつけることがあり反省をしているところです。実践目標における 低評価は、緊急時対応や感染症マニュアルの策定に関する項目でした。各種マニュアルの作成中であり、11 月まで には完成を目指しています。

次に高評価だったのは、運営目標では、ケース会議に関する項目でした。毎週木曜日に常勤・非常勤を交えたケー ス会議を実施することで、個々の児童生徒の多方面からの様子を共有することができ、支援内容や方法に有意義に生 かせることができています。実践目標では突出した高評価はまだありませんが、児童生徒の実態に応じて各種活動の 内容やその環境を工夫し改善していこうとする職員の思いが多く表れていました。

さて、今年はコロナ禍の状況で活動場所や内容の制限が当初ありましたが、現在では少しずつ以前のような取り組 みができるようになってきました。利用児の健康観察を徹底し、3 密を避け、手が触れる場所や物の殺菌・消毒、換

気等、今後も感染症対策を継続して、コロナウイルスはもちろん、インフルエンザも寄せ付けないように取り組んでいければと思います。

今後も運営・実践目標の達成に向け、具体的に確実な一歩を進め、子どもたちの安心・安全・健康を守りつつ、より良いスクラムの姿を創造していきたいと考えています。

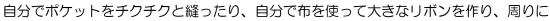
スクラムスタッフより 保育士: 日高 希





スクラムに勤めて2年目になりました。毎日楽しく子どもたちと活動 を共にしています。

スクラムでは女子中高生を中心に、講師を招いて手芸教室の日を設定しています。お人形を作ったり、マスクを作ったりとみんな楽しそうに参加しています!バッグへの装飾ではいろいろな布をハートの形に切って貼ったり、リボンやスパンコール、ポンポンをボンドで付けたり、



レースを縫ったりと子どもたちそれぞれが思い思いの装飾を作ったり、学校で習った手縫いをしたりとイメージを膨らませながら、自分の力を発揮していきます!時には、教え合ったり、上手に作っている仲間をじ~っと観察して憧れを抱いたりと素敵な関係が築かれていました!完成した自分のバッグを見て、満足そうな子どもたちでした。次の日には早速学校に持っていき、日常生活で活躍しているようです!

放課後の短い時間の中ではありますが、日々子どもたちが"子どもたち同士で成長し合っている"ように感じます。これからも子どもたちの成長を感じながら、自分も成長できるよう頑張りたいと思います。

スクラム保護者より ☆★☆スクラムって☆★☆

小学3年からどんぐり、放デイに通っている娘にスクラムってどんなところ?って聞いてみました。娘は少し考えて「たくさん笑えて、幸せなところかな。」と嬉しそうに話します。

そんな娘が放デイに通うようになった頃は、小学校の友達と関わるなかで、できないことを感じることが多くなり 挑戦することもなくできない!としりごみするようになった娘の姿がありました。学校の先生に相談しながらもなぜ か相談したあとにモヤモヤとした感情や怒りにも近い感情を覚えた私は放デイに通わせてみようかと相談に行った日 を思い出します。そこで話しを聞いてもらい、娘を客観的にとらえ、アドバイスをいただいてすっきりし、安心して お願いできると思い、娘は放デイに通い始めました。

娘はウィリアムズ症候群という遺伝子疾患がありその特性である、人なつっこい性格や流暢な言葉をつかうことで親である私も言葉の理解力が伴わないこと、わかったふりをしながら行動しないといけない不安感を抱えている娘をわかってあげられない状況にありました。そんな親子をスクラムのスタッフの方々は理解して関わってくださっています。特性だからとあきらめずに日々のコミュニケーショントレーニングで娘の気持ちを整理しながら他の人と接することをができるようになれるように関わってくださっています。そこが娘にとっては自分をわかってくれる!安心して過ごせる場所になってくれているのだと感じます。

娘は高校1年生の思春期まっただ中。親の私にはケンカごしで話すばかりの毎日で話しすらめんどくさそうな様子。でも、スクラムの話しとなると本当に嬉しそうに話しをしてくれます。聞けば、良いことばかりでもなさそうなのですが、とにかく嬉しそう。学校でのストレスもスタッフの方に聞いてもらうことで発散して帰ってきます。それが私の安心にもなっています。

放課後等デイサービスとは、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することをいうといちづけられています。まさに、娘にとっては社会生活を送るためのいきる力を養う場となり、私にとっては娘を理解して受容していくためのサポーターとなってくれているスクラム☆先をみればあと2年とちょっとで卒業かと思うと焦る気持ちもありますが、きっとさらにたくさんの宝物をもらって巣立つことができると思います。日々の会話のなかのヒントを力にかえられるように、そしてありがとうという感謝の気持ちを言葉にしながら生きていけるように親子ともにどっぷりとお世話になりながら残りのスクラムでの時間を過ごしていきたいと思います。

生活介護事業所

サポートセンター開



鹿児島市西別府町 2794-29 TEL:099-283-6120 FAX:099-204-0134

★私たちの仕事★

サポートセンター開では、日々なかまたちとスタッフが仕事に向かい合っています。3つの 班に分かれてそれぞれがそれぞれにしかできない仕事を担っています。

〈食品加工班〉

パンやスイーツを作る食品加工班では、注文を受けた食パンづくりやクッキーづくり、事前の材料の買い出し、新商品の開発、計量や後片付け、作ったパンの注文を聞いてお客さんの宛名書きや袋詰め、販売時はお客さんとのお金のやり取りにも取り組んでいます。なかまた





ちができることを少しずつスタッフと練習して増やしていき、今では「まかせて!」と意気込んで白衣に着替えて工房に向かう姿、販売前には「頑張るぞ!」と気合の入っている姿を多く見かけます。今年度コロナの状況下において、食品づくりの機会は以前に比べるとかなり減ってしまいましたが、これまでと変わらずに一つずつ丁寧に、心をこめてパンやスイーツ

を作っていきます。

〈スマイル班〉

畑やタオル作業・軽作業を主に取り組むスマイル班では、都市農業センターに借りている畑の水かけや草取りなどの管理に取り組み、野菜が収穫できると袋詰め・値札貼り・販売まで行っています。その他にも新聞紙をシュレッダーで細かく裁断し、袋詰めして油取りパックを作ったり、封筒に一つ一つイラストをスタンプしてオリジナルの封筒を作った



りと、様々な作品を作っています。委託作業では印刷会社さんか ら企業のタオルを受け、袋詰めをして、シーラーで閉じて納品ま で行いま。「次のタオルまだかな」と心待ちにしているなかまも おり、スマイル班の大事な仕事の一つです。



〈ハッピー班〉

作品作りや委託作業に取り組むハッピー班では毎日しているといって過言ではない ほど作品作りに取り組んでいます。布に下絵を描き、それに沿って好きな色の糸で刺し 子をし、完成したものをコースターや花ふきん・手提げ袋などに加工して販売をしてい ます。委託作業では鹿児島市から委託されて西陵地域2か所の公園掃除を週に1回行っ



ています。落ち葉や雑草などの処理は大変で夏はたくさん汗をかきながらですが、声をかけてくれる地域の人たちや掃除後にきれいになった公園を見るとうれしく感じます。イオンからの委託作業では、ゲームコーナーで使用している大量のカラーボールを洗う仕事あります。



この作業はハッピー班で赤白のボールをきれいに洗って拭き上げ、 スマイル班に色分けを分担してお願いして仕上げます。納品日には イオンの開店前に納品、次のボールの受け取りも仲間と行っていま



す。仕事の締め切りに合わせての作業であり、天候に左右されてしまいますが、変更

も快く受けて一緒に作業に向かうなかま達に日々助けられています。

〈全体活動〉

仕事だけではなく、音楽クラブやリズム体操・水泳にウォーキングなどの音楽や運動活動の取り組みや、新し

いことの発見に図書館からいろいろな本を借りて食後のお昼休みに読んだりします。 なかま達が主体となってしたいことを話し合う自治会活動「なかまのかい」では代表 の人たちを中心に話し合い、全員へ活動の提案、企画・予約・連絡などスタッフと行 い楽しめる開全体の活動を考えてもらっています。

仕事も余暇も一生懸命に楽しんだり悩んだりしながら頑張る開のなかま達です。コロナが収まりましたら、ぜひ月に一回の開マーケットにお越しください。文責: 永田



【サポートセンター開 施設長より】山崎 優子

令和二年度に入り早いもので半年が過ぎました。今年度は、コロナウイルスの影響で今まで当たり前にできていたことが難しく、なかまたちも職員も保護者もつらく、苦しい日々が続いています。この状況になり、当たり前のこと、変わらない日常がこんなにもありがたく幸せだと感じる今日この頃。いつか当たり前の日常が返ってくることを願い、今できることを模索しながら『サポートセンター開』らしくなかま、スタッフ、保護者で協力し合いながら前を向いて頑張っています。まだまだ心配な状況は続きますが、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

開スタッフより 生活支援員:大石 和史

サポートセンター開で働き始めて8年半が経ちました。まったくの未経験、福祉についての勉強は全くしてこなかった中で飛び込んだ未知の世界でしたが、何とか現在まで続けることができています。これまでのなかま達との日々の中で、迷い、悩んだことも数多くありましたが、とにかく続けてきたことで、経験や知識を積み重ねることができました。おかげさまで、福祉の世界を少しずつ好きになれていると感じます。これまでの実践経験や、研修で得た知識をとおして、少しずつなかま達とコミュニケーションが取れるようになってきました。今後も、なかま達との日々の中での気づきを大事に、共に学び、成長していきたいと思います。

<u>開保護者より</u>

娘が3歳で療育を始めて、もう23年が経つと思うと、長くお世話になっている事に改めて感謝の気持ちです。

とにかく多動であちこち走り回り、高い所に上ってじっとしていないので目が離せずに大変だったこと、偏食がひどくて給食も白ご飯しか食べずに養護学校の先生に丁寧に指導して頂いたこと、イライラして周りの人に当たったり物を壊してご迷惑をおかけした事、いまだに変わらない事も多くありますが、長い時間をかけてなかまの中で先生、ボランティアの学生さん達と色々な遊びや活動を通して、ゆっくり成長させていただきました。現在はサポートセンター開で生活介護に通い、野菜の袋詰めや送迎車の洗車など、少しずつ参加できる様になりました。

ハッピーホームにも短期入所を利用して宿泊できるようになり、今ではそれが楽しみになるなんて信じられないほどの成長です。いつまでも自立する事はできないであろうと思っていた私達にとって大きな希望になりました。

まだまだ毎日の中で問題は山積みですが、娘がゆっくり穏やかに過ごせる事が一番の願いです。

共同生活援助事業所グループホームハッピー



鹿児島市直木町 3399-1 TEL: 099-295-4312 FAX: 099-295-4315

♪私たちの休日♪~ウキウキで生き生きな休日~

この日は、3 名の料理好きな方が日中 GH (グループホーム) ハッピーで 過ごされることになったので、昼食は『お好み焼きクッキング』を提案して みることにしました。すると、Y・T さんはお好み焼きの写真を見るとすぐ エプロンに着替えられ、M・N さんは前回上手くいかなかったひっくり返す 工程のリベンジがしたいと燃えており、Y・Y さんはクッキングの話を聞く なり淡々と準備を済ませて調理場へ向かわれました。みなさんやる気満々だ ったので調理仕度はすぐに済み、いざ!お好み焼きクッキングのスタート!!



食材の下ごしらえは、それぞれ得意な工程で役割が分担されましたが、お好み焼きの タネ作りからは各自が持つボウルで作りました。かさ増しをしたい Y・T さんは水を多 めに入れて鉄板で大きく焼き、キレイに焼きたい Y・Y さんはタネを 2 枚分に分けて焼 き、ひっくり返しリベンジの M.・N さんは "ああでもない、こうでもない"と試行錯





誤しながら見事リベンジに成功していました!お好 み焼きの完成が間近になると、"早くみんなで食べた

いね!"と言わんばかりに、Y・T さんは自ら進んでみんなの食器を準備し たり、麦茶を注いだりしてくれました。自分で自分の為に作ったオリジナリ ティ溢れるお好み焼はもちろん絶品で、みなさんキレイに完食されていまし た。楽しい・嬉しいを仲間達と共有しながらのクッキングは、とてもよい食 事の場になったのではないかと思います。

昼食後は各々ゆっくり過ごされていましたが、この日の天気は快晴で気温も高かったということもあったので、 おやつにアイスクリームを買いに出かけることを提案してみることにしました。M・Nさんは「いくー!」と即 答。普段、買い物にはあまり出かけることのない Y・T さんと、あまり財布のお金を使いたくない Y・Y さんで すが"アイスだったら行こうかな!"という様子で車に乗り込まれました。出かけた先には、どれにしようか選 ぶのに迷ってしまう程の大きなアイスコーナー!たくさんあるアイスの中から自分の好きなものをチョイスし てレジで購入。早く食べてしまわないと溶けてしまうので、外のベンチに座ったらいただきます!幸せな気分い っぱいで GH ハッピーへ帰りました。

平日の過ごし方とは異なる、仕事の無い休日活動の 1 コマの紹介となりました。利用者さんが自身のペース でゆっくり過ごされる時間はもちろん確保できるように配慮しつつ、嬉しい活動や 楽しい経験等を重ねていけるように今後も活動を提案していきたいなと考えてい ます。経験を重ねていく中で"また、あれが食べたいな!""今度はあそこに出か けたいなー。"と日常生活の中に期待感をもち、利用者さん自身で余暇を選択し気 持ち良く過ごすことで"良い休日だったなー、また明日も頑張ろう"と活力みなぎ るような生活環境づくりを心掛けていきたいと思います。文責:奥



【グループホームハッピー 施設長より】西田 雄太

令和2年4月よりグループホームハッピーならびにハッピーホームのサービス管理責任者を担当させていた だいております西田雄太です。 グループホームハッピーは開所から4年目に入ろうとしています。 開所当初は男 性3名、女性2名の計5名でのスタートでしたが、昨年7月に男性の方の入所が決まり、満床での運営を致しております。一人ひとりの想いを大切に、自分らしく安心して安全に生活する場として、日々の暮らしのサポートを行っています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で悲しいニュースばかりですが、入所者の方たちは大きく体調を崩すことなく元気に過ごされております。帰宅時の手の消毒、手洗い、外出時のマスクの着用も徐々に習慣化しており、新しい生活様式を実践しながら生活をしています。文責:西田



ご近所をウォーキング中♪



温泉に行きました♪



タブレットでおしゃべりタイム♪

トークルーム

グループホームスタッフより 世話人: 濵田 広美

グループホーム設立当初から勤務させていただき早4年が経とうとしています。 夜勤 にも入り入所者さんや、短期入所の方の生活の支援をしています。 また、おいしいごは んを食べていただこうと、厨房の仕事も担当し献立も立てております。 季節のお野菜や、果物を取り入れたり、バランスの良いカロリーを計算したメニューとなっております。 「おいしかった」と言ってもらえるのが何より嬉しく仕事の励みとなっています。



グループホーム保護者より

2019年7月にグループホームハッピーさんへお世話になるようになり早1年3ヶ月経ちました。短期入所、生活介護のサポートセンター開さんを利用しながら、自宅での生活を続けてきました。2019年になりグループホームさんの空きがある事を書面で知りました。職員様や仲間の皆様との信頼関係が構築されている事もあり、弟とも相談し入所することになりました。食生活や生活のリズムも整い、健康で元気に弟が過ごせているのは周りの皆様のサポートのお陰だと日々感謝です。言葉が出ず、相手に伝わらないと諦めたりする事も多々あり、絵やジェスチャー、言葉をゆっくり言うようにしたりと、何とかして伝えようとする姿勢が身に付いたり、洗面、

入浴動作も少しずつ様になったりと着実に力をつけ、成長している姿は嬉しい限りです。

これからの生きていく過程の中でも、今行ってる活動で身に つける生活力は大切になっていく事ばかりなので、皆様のサポートを受けながらこれからも弟のペースで自信を持って、グループホームで学んだことを糧にして笑顔で歩んで欲しいと思います。今後も、職員の方の支えを頂きながら楽しく健康に、 笑顔で日々を過ごしていってくれたらと思います。



NPO 法人ハッピー ホームページリニューアル!!

NPO 法人ハッピーのホームページが新しくなりました。 各事業所の活動の様子がわかりやすく紹介されています。ぜひご覧下さい。







ホームページアドレス

http://npo-happy.org/

特定非営利活動法人ハッピー 鹿児島





ブログ等で各事業所の最新情報を ぜひチェックしてみてください♪

☆ 賛助会員を募集しています ☆

NPO 法人ハッピーでは地域の中でも誰もが安心してひとりの人間として生活していけるように地域生活サポートに関する活動を行い、暮らしやすい町の創造と地域福祉の推進を図ります。私たちの取り組みにご理解くださり、賛同して下さる方を広く募集しています。皆様のご理解とご支援の下、地域に根ざした福祉の向上に努めます。どうぞ宜しくお願い致します。詳しくは本部までお問い合わせください。

賛助会員 個人 一□ 2000円

団体 一口 10000円 (何口でも可)

【入会方法】振込用紙に、氏名、住所、電話番号、会費種別(個人/団体)をご記入の上、下記口座にお振込みください。その際に、誠に申し訳ありませんが、振り込み手数料をご負担くださいますようお願いいたします。

<口座名義> トクテイヒエイリカツドウホウジンハッピー

ダイヒョウシャ ヤマサキヒロノブ

<口座番号> 鹿児島銀行 西陵支店

普通預金 口座番号 545722

....

お問い合わせ先 NPO 法人ハッピー 099-283-6120(担当:有村)

<編集後記> 令和になり、初めてのハッピー通信発行となりました。各事業所ごとの思いや大事にしたい事、保護者の方の思いなどが詰まった内容になっています。次号からは、内容をリニューアルして発行できるよう検討中です。これからもご支援・ご協力よろしくお願い致します。(文責:日高)